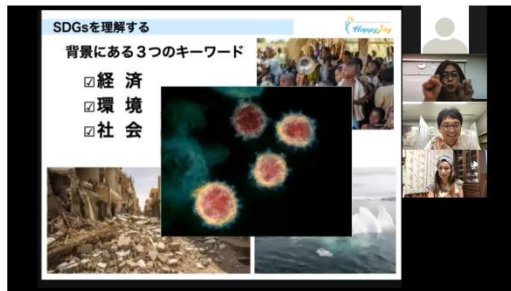


令和3年度 浦添市まちづくりアカデミー
第3回

10月6日（水）18時～20時
ZOOM 開催

第3回講座『地域課題に気付いた時 その時どうする？ みんなで考えよう！一緒に動き出そう！』

講師：合同会社 Happy joy ヒトコト専門家 代表社員
幸喜 穂乃 氏



SDGs的視点で浦添のまちの未来を想像し、
未来につながる“今”できることを考えてみましょう！

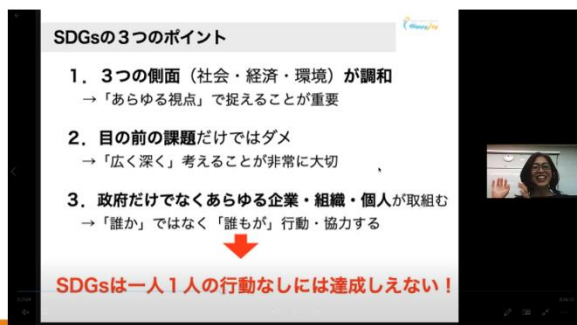
身近な気になること・問題だなあと感じることに

- グループ1：生活（食品ロス、貧困）
- グループ2：環境（生活排水、地球温暖化）
- グループ3：子ども（居場所、教育、スマホの低年齢化）

グループ
ワークを
しました！



- 何事にもつながりがあるから
広い視点で見ていく。
- その先に何があるんだろうということまで
考えることが重要。
- 想像力をしっかり働かせて、問題だと感じている
ことに向き合っていく。
- 身近な気になることを自分ごと化しよう！



浦添市まちづくりアカデミー 第3回講座 アンケート 結果

1. 今日の講座で学びになったことは何ですか。

- SDGsについてざっくりとしたことしかわからなかったもので、詳しく教えて頂き勉強になりました。地域の課題を見つけ、SDGs的視点で未来の子どもたちにつながる“今”を想像し創造することが大切だと感じました。各グループの発表から問題提起も様々ないただけたので日々に活かしていきたいです。

- SDGsに関して、現在自分が持っている知識に加え、他の側面を知ることができました。

- 環境（ゴミ・温暖化）、教育、経済、社会（現代社会とネット社会）、子どもの居場所づくりと、多岐にわたるキーワードにふれ、わずかな時間で思いを語りまとめるという情熱ある皆さんとの出逢いは本当に大切だと思いました。この企画を実行するまでの時間と労力を想像するとさらに頭が下がります。そうした思いが帰結した先に「限りある命・資源を活かし、未来を育てよう」という思いを唱え「心くばり」をしていくだけで、自然と環境は変わるのかなと思います。

- SDGsを基本に考えていくと、今自分が考えていることがどこに該当するのかの道しるべになるので、自分の気になるSDGsの項目を掘り下げる必要があると思いました。

- 20分遅れての参加で前半聞けなかったのですが、それでも幸喜さんのお話がわかりやすくSDGsをととても身近に感じ、自分にできることがいっぱいあるんだと思えました。正しいか間違いかの視点ではなく、より良い未来のために、みんなの幸せに向かっていくためのはじめの一步が（途中で切れてしまっています。）

- SDGs、持続可能な社会を創る一員になる。

2. 今日の講座を受けて、やろうと思ったことは何ですか。

- 無駄を減らす、なるべくごみを出さないなど一つ一つの小さな事でも、それが未来につながっていることを意識し続けていきたいと思いました。

- 身近なコトへの取り組みの強化。新たに何かを始めるということも大切ですが、現状行っていることのブラッシュアップができればと思いました。

- まちづくりアカデミーの存在そのものを、職場や家庭で語ることからはじめようと思います。そのうえで、この感想シートに自分の思いを整理することは大切ですね。「限りある命・自然を活かし、未来を育てよう」まずは、その思いをしっかりと自分の心にすえて、共有できる方々を増やす努力をしていきます。

- 幸喜先生のお話にあった、トレードオフの解決法も併せて考えていかなければいけない。

・福祉の仕事をしているのですが、自分の職場でSDGsの視点、考え方で何ができるのかをおもいつくまま書いてみて行動しやすい事から初めてみたいと思いました

・これまで通り、ごみ拾いや無駄な買い物を控え、足元のゴミの減量化を続ける。道路緑地帯の草刈りを続けて、ポイ捨てを減らす。

3. 今日の講座の感想をお書きください。

・グループセッションが増えてきて、参加者の皆さんのお考えを伺える機会も増え、色々な気づきにつながり勉強になっています。同じ浦添市民としてこんな風に一緒に子どもたちの未来について考えを伝えあえる時間、とてもありがたく元気と勇気をいただきます。まだまだ分からないことがたくさんあるので毎回学びに喜びを感じています。皆さんといつかリアルでお会いできる日も楽しみです。

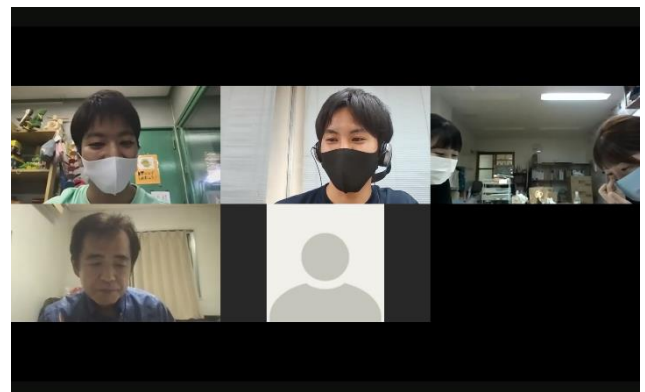
・現代社会において、旬な話題で問題定義していただいたので大変興味深く聞くことができました。

・みなさんと朝までトークしてみたいです（笑）できれば飲みながら（お茶でもOK）

・浦添市がより安心な街になって、地域の大人が未来を担う地域のこども達みんなを守れるようなまちづくりをしたいです。コミュニケーションの取り方が変化していますが、インターネットだけでなく、直接会って言葉を交わすという基本的な交流を復活させる何かがあればと思います。

・とても楽しく学べました。ありがとうございました。

・グループワークで、若い人の積極的な意見にとっても感心しました。



グループワークの様子